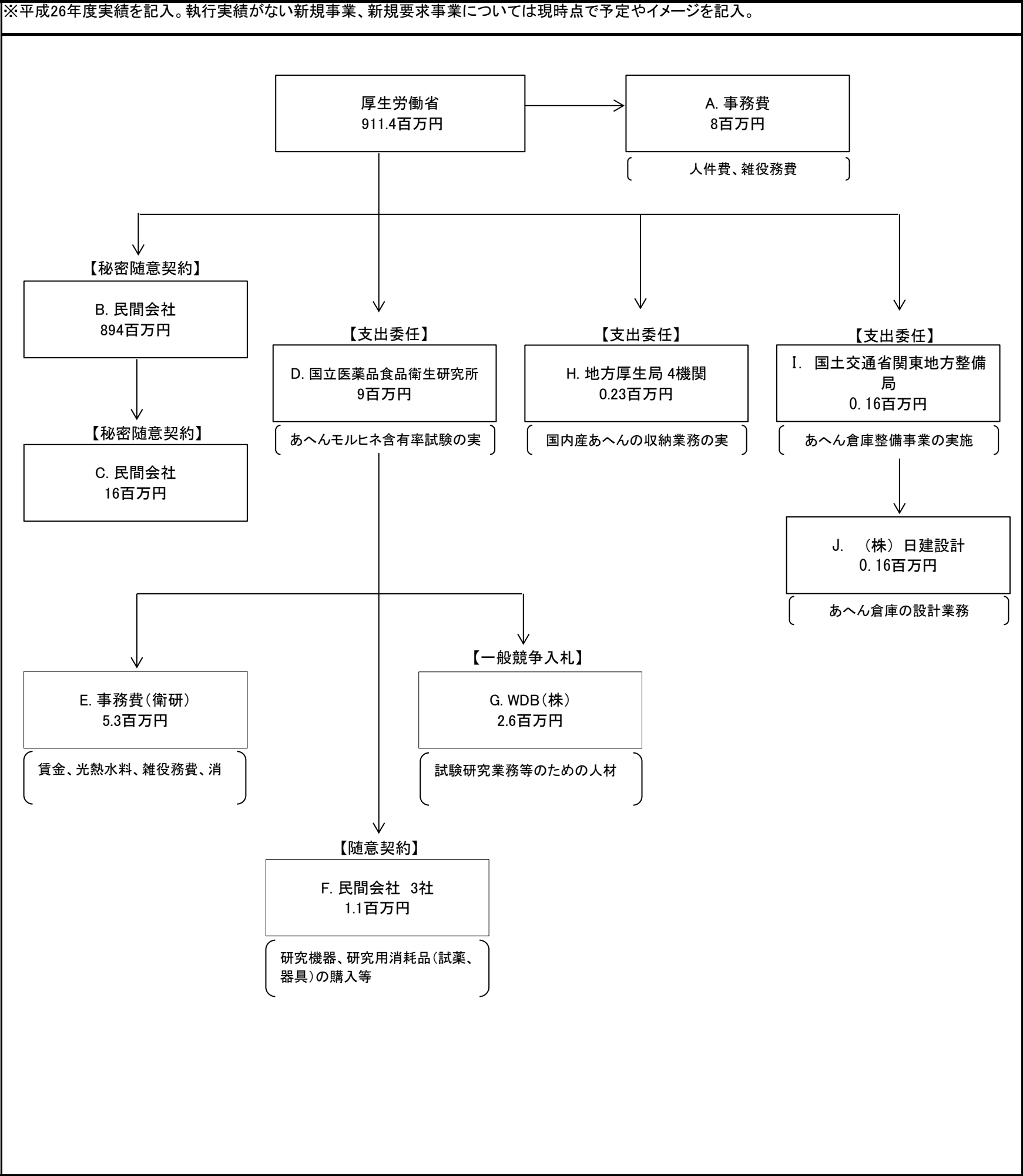


事業番号										0346							
平成 2 7 年度行政事業レビューシート（厚生労働省）																	
事業名		あへん供給確保事業				担当部局庁		医薬食品局		作成責任者							
事業開始年度		昭和 6 0 年度		事業終了 (予定) 年度		終了予定なし		担当課室		監視指導・麻薬対策課 課長 赤川 治郎							
会計区分		一般会計				政策・施策名		Ⅱ－３－１ 規制されている乱用薬物について、不正流通の遮断及び乱用防止を推進すること									
根拠法令 (具体的な条項も記載)		あへん法第2条、第6条、第32条、第33条				関係する計画、通知等		がん対策推進基本計画									
主要政策・施策						主要経費		社会保障									
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		医療及び学術研究の用に供する「あへん」の供給の適正を図るために必要な事業を行う。 (注)1961年の麻薬に関する単一条約は、あへんの海外からの購入・輸入等は国が独占するよう求めている。															
事業概要 (5行程度以内。別添可)		1. 医療上必要不可欠な医薬品の原料である「あへん」を、国内の需要・供給量を踏まえ、インド政府及び国内のけし耕作者より購入し保管する。 2. あへんの国内価格決定を行うため、インド政府から購入した「あへん」のモルヒネ含有率試験を実施する。 3. 国内産あへんの収納業務及び災害補償業務を実施する。															
実施方法		直接実施、委託・請負															
予算額・執行額 (単位:百万円)				24年度		25年度		26年度		27年度		28年度要求					
		予算 の 状 況	当初予算		945		945		943		943		944				
			補正予算		-		-		-		-						
			前年度から繰越し		-		-		-		-		-				
			翌年度へ繰越し		-		-		-		-						
			予備費等		-		-		-		-						
		計		945		945		943		943		944					
		執行額		892		904		911									
執行率 (%)		94%		96%		97%											
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		定量的な成果目標		成果指標				単位		24年度		25年度		26年度		目標最終年度 27 年度	
		麻薬製造業者からの需要に対する供給		売渡件数		成果実績		件		12		10		11			
						目標値		件		12		10		12		7	
						達成度		%		100%		100%		91.7%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位		24年度		25年度		26年度		27年度活動見込	
		必要見込みに基づくあへん確保量				活動実績		kg		115,200		95,340		77,940			
						当初見込み		kg		118,070		119,677		93,540		93,540	
単位当たりコスト		算出根拠						単位		24年度		25年度		26年度		27年度見込	
		X:当該年度のあへん供給確保費の執行額(円)／ Y:当該年度のあへん確保量(kg)				単位当たりコスト		円		7,743.1		9,481.9		10,086.1		10,086.3	
						計算式		X/Y		892,000,000/115,200		904,000,000/95,340		943,456,000/93,540		943,471,000/93,540	
平成 2 7 ・ 2 8 年度予算内訳 (単位:百万円)		費 目		27年度当初予算		28年度要求		主な増減理由									
		あへん需給調査旅費		2		2		積算単価の見直しによる増									
		あへん等取扱業務庁費		17		18											
		各所修繕		0		0											
		あへん購入費		924		924											
		けし耕作者災害補償費		0		0											
計		943		944													

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	あへんは医療上必要不可欠な医薬品原料であり、広く国民のニーズがある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	あへん法に基づき、国が輸入等を行うこととなっている。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	医療上必要不可欠な医薬品の原料を確保するため、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	あへんの購入については秘密随意契約を締結し、その他の支出については適切に支出先を選定している。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	輸入業務代行料については、各種データを精査し、見直しを図っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	あへんの取扱については、特に注意を必要とするため、輸入業務代行については予算決算及び会計令99条に基づく契約としている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	経費の大半があへん購入費であり、適正に執行されている。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか			-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか			○	例年、麻薬製造業者の需要には応えられている（26年度は売渡希望が11件だったため実質達成率は100%）。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	あへんの輸入等は国が行うこととされており、試験についても国が実施することから、効率的に実施されている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	円安等の影響により見込みを下回っているが、予算内で最大限のあへんを確保した。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	確保したあへんについては麻薬製造業者に売払い、医療上必要不可欠な医薬品の原料として活用されている。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			-	—	
	所管府省・部局名		事業番号	事業名		
	—		—	—		
	—		—	—		
点検・改善結果	点検結果	平成25、26年度は、大幅な円安等の影響によりあへんの購入量が減少したため、成果実績が目標値を下回っているが、それまでの年度については概ね目標値を達成している。				
	改善の方向性	国内で必須の医療用麻薬の原料を供給するための経費であり、需要供給を踏まえた購入量となっていることから、大幅な見直しは困難であるが、今後も適正な執行に努めてまいりたい。				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	点検結果も妥当であり、また、医療上必要なあへんを確保するための経費であることから、引き続き必要な予算額を確保するとともに、適正な執行を図ること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	344	平成23年度	312	平成24年度	271	
平成25年度	324	平成26年度	335			



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A. 非常勤職員			G. WDB(株)		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	賃金	非常勤職員給与	5.2	雑役務費	試験研究業務等のための人材派遣業務	2.6
	計		5.2	計		2.6
	D. 国立医薬品食品衛生研究所					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	光熱水費	電気・ガス・水道使用料	4.7			
	雑役務費	試験研究業務等のための人材派遣業務	2.6			
	備品費	研究用機器の購入	1			
	賃金	嘱託職員給与	0.5			
	消耗品費	事務用品、研究用具、試薬等の購入	0.1			
	計		9	計		0
	E. 東京電力(株)					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	光熱水費	電気使用料	3.5			
	計		3.5	計		0
	F. (株)一和堂					
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	備品費	研究用機器等の購入	0.9			
	計		0.9	計		0

支出先上位10者リスト

A. 事務費

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	非常勤職員	非常勤職員賃金	5.2	－	－
2	(株)セコム	倉庫保全業務	1	随意契約	－
3	職員A	職員旅費	0.8	－	－
4	フロンティア(有)	麻薬倉庫廻り草刈作業及び建物屋上清掃作業	0.4	随意契約	－
5	東京電力(株)	電気使用料	0.2	－	－
6	日植アグリ(株)	けし栽培にかかる肥料代	0.2	随意契約	－
7	第一法規(株)	インターネット版判例体系(刑事法編)平成26年度 年間利用料金	0.1	随意契約	－
8	(株)サンワ	切傷刀	0.1	随意契約	－
9	NTT東日本	電話使用料	0	－	－
10	職員B	職員旅費	0	－	－

B. 民間会社

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間会社	(秘密随意契約)	894	秘密随意契約	－

C. 民間会社

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間会社	(秘密随意契約)	16	秘密随意契約	－

D. 国立医薬品食品衛生研究所

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立医薬品食品衛生研究所	あへんのモルヒネ含有率試験	9	－	－

E. 事務費(衛研)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京電力(株)	電気使用料	3.5	－	－
2	東京ガス(株)	ガス使用料	0.8	－	－
3	嘱託職員	嘱託職員給与	0.5	－	－
4	東京水道局	水道使用料	0.5	－	－
5	医療法人社団 康生会	特別定期健康診断12月(派遣職員)	0	随意契約	－

F. 民間会社等

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)一和堂	備品(PC)の購入	0.9	随意契約	－
2	(株)伊藤サプライ	備品(PC、周辺機器等)の購入	0.2	随意契約	－
3	関東エア・ウォーター(株)	高純度ヘリウム 2点 外1点	0.1	随意契約	－

G. WDB(株)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	WDB(株)	試験研究業務等のための人材派遣業務	2.6	4	86.6%

H. 地方厚生局

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州厚生局	国内産あへんの収納業務	0.2	－	－
2	北海道厚生支局	国内産あへんの収納業務	0	－	－
3	中国四国厚生局	国内産あへんの収納業務	0	－	－
4	関東信越厚生局	国内産あへんの収納業務	0	－	－

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

☒ チェック

別紙3

I. 国土交通省関東地方整備局

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土交通省関東地方整備局	あへん倉庫整備事業	0.2	-	-

J. (株)日建設計

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日建設計	設計業務(行政手数料分)	0.2	随意契約	-